電話をかける

1 アンテナを伸ばす

「カチッ」と音がして止まるまで引き伸ばします。

アンテナを伸ばさないと十分な性能は発揮できません。

2 電源が入っていることを確認する

電波状態も確認してください。

3 ダイヤルする

●一般電話
必ず市外局番からダイヤルします。

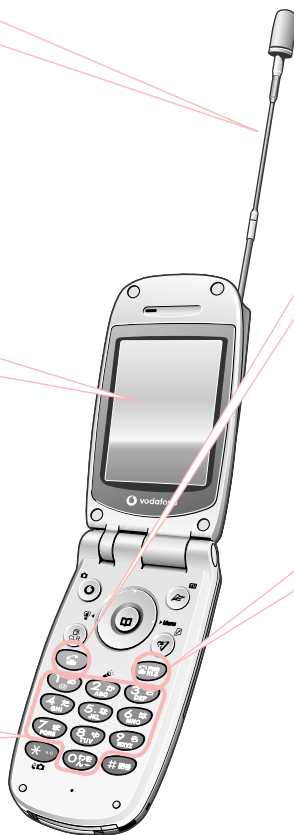
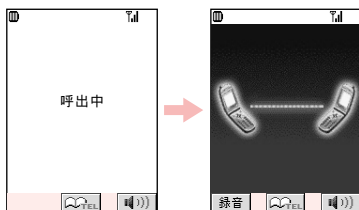
例：03-123X-XXX1へかける場合

03123XXXX1
登録

●携帯電話・自動車電話・PHS
0から始まる全桁の番号をダイヤルしてください。

例：090-392X-XXX1へかける場合

相手の声が聞こえにくいときは（受話音量）

通話中に◎または▲を押すと相手の声が大きく、◎または▼を押すと小さくなります。待受中に調節することもできます（☞P8-2）。

4 ダイヤル番号を確認してを押す

相手につながると通話できます。

5 通話が終わったら PWR/HLD を押す

通話が切れ、待受画面に戻ります。

アンテナを収納するときは、先端を持って押し込まないでください。破損の原因となります。

相手の声をスピーカーで聞くときは

ラウドスピーカーを使うと、受話口に耳を当てなくてもスピーカー出力による音声を聞くことができます。［スピーカー］が表示されているときに設定できます。

- 呼出中、通話中、スカイメロディ接続時、留守番センター接続時に［メール］（［スピーカー］）を押します。［スピーカー］が［スピーカー×］になります。

- ラウドスピーカーを使用しているときは、相手に自分の声は聞こえなくなります。
- 三者通話サービスをご利用のときには使用できません。

発信禁止（☞P9-6）やオフラインモード（☞P9-18）が設定されているときは、電話をかけることはできません。

- ［発信］を先に押してからダイヤルしても電話がかけられます。
- 電話番号は、最大24桁まで入力することができます。25桁以上入力した場合は、電話番号が先頭から順次消えていきます。

■間違えてダイヤルしたときは

CLRを押すと最後の桁から1桁ずつ消去されます。

■相手が話し中のときは

「プーッ、プーッ」という話中音が聞こえます。PWR/HLDを押していったん電話を切り、もう一度かけ直してください。

■ご自分の電話番号を相手に通知するには

発信者番号通知サービスを受けている方は、相手の電話機（ディスプレイ）にご自分の電話番号を表示させることができます（☞P14-23）。

■国際電話を利用するには

V601Nから、国際電話サービスがご利用になれます。詳しくはサービスガイドブックをご覧ください。

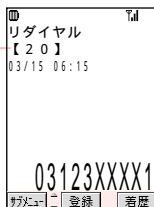
■通話相手の声を録音するには

通話中に［◎］（［録音］）を押します（☞P13-12）。

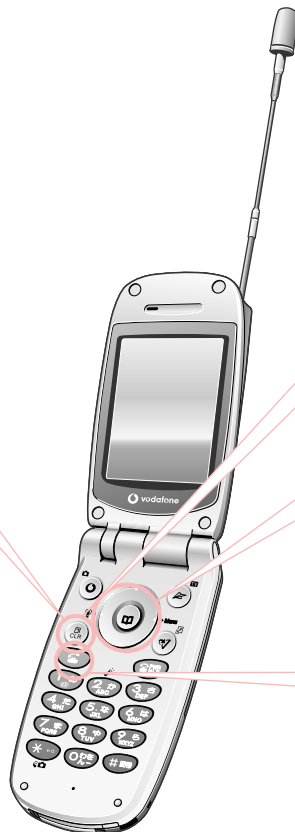
以前かけた電話番号にもう一度かける(リダイヤル)

以前にかけた電話番号やその日時などの情報は、最新の20件まで記録されています。同じ電話番号にかけたときは、1件として最新のものが記録されます。もう一度かけたい電話番号を検索し、簡単な操作でかけ直すことができます。

1 CLRを押す

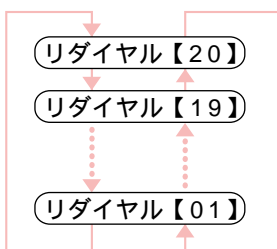
最後にかけた電話番号や、かけた日時などが表示されます。

リダイヤルNo.が大きいほど新しいデータであることを示します。

リダイヤルの日付時刻を表示させるには、あらかじめ日付時刻設定(☞P2-4)をしておく必要があります。

リダイヤルが1件もないときは、着信履歴が表示されます。リダイヤルも着信履歴もないときは、警告音とメッセージでお知らせします。

サブメニューを使ってリダイヤルデータを活用するには

(サブメニュー)を押すとサブメニューが表示されます。で項目を選択し、(選択)を押すと、次のような操作が行えます。

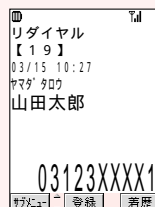
項目	概要
消去	(1件)を押して表示中の1件を消去する。または(すべて)を押して、全リダイヤルデータを消去する
メール作成	送信方法を選択し、リダイヤルデータの相手宛てのメッセージを作成する(☞『Vodafone live!編』)

2 CLR または ◯ で リダイヤルする電話番号を表示させる

CLRを長く（1秒以上）押すと、待受画面に戻ってしまいます。

3 ☎を押す

相手につながると通話できます。

- 通話中にリダイヤルを確認したあと、通話中画面に戻るときは、CLRを長く（1秒以上）押してください。☎PWR HLDを押すと通話が切れてしまいます。
- 発信禁止（☞P9-6）やオフラインモード（☞P9-18）が設定されているときは、電話をかけることはできません。

- リダイヤルは、電源をOFFにしても消去されません。
- リダイヤルが20件を超えたときは、古いものから順次消去されます。
- ダイヤルした相手の電話番号と名前がメモリダイヤルに登録されている場合には、名前も表示されます。ただし、シークレットメモリに登録されている相手の名前は表示されません。

- ✎（着歴／発歴）を押すごとに着信履歴（☞P2-18）とリダイヤルの表示を切り替えることができます。

■リダイヤルの電話番号をメモリダイヤルに登録するには

リダイヤルに記録されている電話番号を、メモリダイヤルに登録することができます（☞P4-3）。